

国際物流戦略チーム
大阪港夢洲地区における物流に関する検討について

平成30年度第30回幹事会及び第15回本部会合におけるご意見

○大阪・関西万博の開催中及び工事中の夢洲地区の物流について、国際物流戦略チームで基盤整備を含めて検討するワーキンググループを設置してはどうか。

⇒検討体制や構成員については幹事会に一任することとなった。

渋滞状況(最大長)(令和元年9月 大阪市港湾局 調査結果)



【参考】平成30年 大阪港コンテナ取扱量(外貿貨物)



【現状の課題】

- 現状の物流に関する課題は、「ターミナルゲート前の渋滞」や「ターミナルの混雑」が約2割、「トラックドライバー等の人手不足」が約3割を占める。
- ゲート待ちのコンテナ車両の待機列が幹線道路(夢咲トンネル～夢舞大橋を結ぶ道路)まで伸びることがある。
- 本船入港日のコンテナ搬出入車両の渋滞が慢性化(特に午後に発生)し、数時間の待ち時間は当たり前のようになっており、ドレージの輸送効率の悪化、および海コン業者の収益の悪化につながっている。
- 長期休暇(正月、ゴールデンウィーク、お盆)時の前後については、物量が大幅に増加し、コンテナ・トラックの不足による入出庫作業の遅れが発生しており、それにともない残業時間が大幅に増加する。

【万博開催に伴う課題】

- 万博が開催されることによって懸念される課題は、「渋滞・混雑」が約6割を占める。
- 大規模な交通規制による物流への影響や大阪湾近辺の高速道路などでの渋滞発生が懸念される。
- 万博開催に加えて、統合型リゾート(IR)が設置されることが決まった場合、建設期間が同時期となることも想定されるため、物流に混乱をきたさないよう、関係者が十分に連携・調整する必要がある。
- バスなどの観光車両や開催までの工事関係車両の通行が大幅に増えるため、夢洲コンテナターミナルへのアクセス(橋、トンネル、幹線道路)での渋滞が懸念される。
- 工事関係車両と物流車両との動線を分ける必要がある。
- 現在の渋滞に工事車両や一般客が加わり、更なる渋滞が懸念される。

※アンケート実施概要

対 象：国際物流戦略チーム構成員のうち、民間企業等 44名

実施日：令和元年7月29日

大阪港夢洲地区の物流に関する懇談会(仮称)について

- 大阪港夢洲地区は阪神港の国際コンテナ物流拠点が形成。ゴールデンウィーク等の長期休暇の前後には、ゲート前車両の渋滞が発生。今後、2025年大阪万博開催やIR誘致が本格化するなか、夢洲地区に流入する一般交通が港湾物流に与える影響が懸念される。
- 港湾関係者において現状・課題、周辺情報について情報交換・共有し、それぞれの取り組みの参考とするため、国際物流戦略チーム幹事会の下に大阪港夢洲地区の物流に関する懇談会(仮称)を設置。

1. 構成員案

- 座長: 上村多恵子 ロジスティクス経営士
(国際物流戦略チーム 学識経験者)
- ・ 大阪港運協会
- ・ 夢洲コンテナターミナル(株)
- ・ (株)辰巳商会
- ・ 近畿トラック協会(大阪府トラック協会)
- ・ 阪神国際港湾(株)
- ・ 関西経済連合会
- ・ 近畿運輸局
- ・ 近畿地方整備局 港湾空港部/大阪港湾・空港整備事務所
- ・ 大阪市港湾局

[共同事務局: 近畿地方整備局・近畿運輸局・大阪市]

※上記の他、各回の議題に応じて参加者を追加。

2. 懇談会で意見交換・情報共有する事項

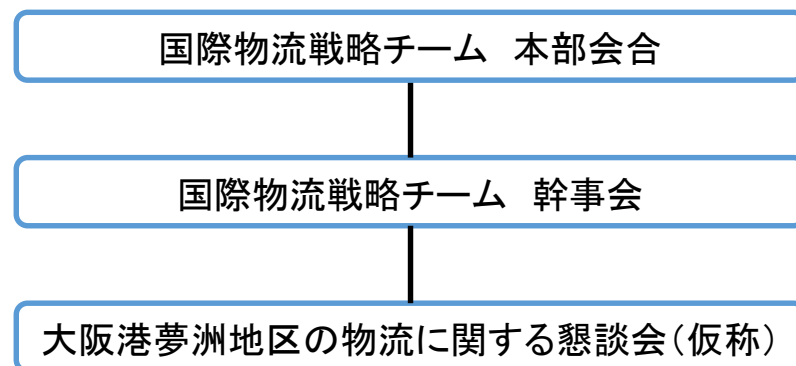
- ・ 夢洲地区コンテナふ頭のゲート前渋滞の現状・課題
- ・ 万博開催期間中の港湾物流への影響
- ・ 2020東京オリパラ大会における東京港の取り組み
- ・ 夢洲地区において実施(予定を含む)する取り組み 等

3. スケジュール

10月4日 第31回幹事会 懇談会設置の報告

10月以降 第1回開催: 現状・課題の共有 等

[体制図]



開催概要

➤ テーマ

「いのち輝く未来社会のデザイン」
(Designing Future Society for Our Lives)

➤ サブテーマ

- ・多様で心身ともに健康な生き方
- ・持続可能な社会・経済システム

- 開催期間(予定)：2025年5月3日～11月3日（185日間）

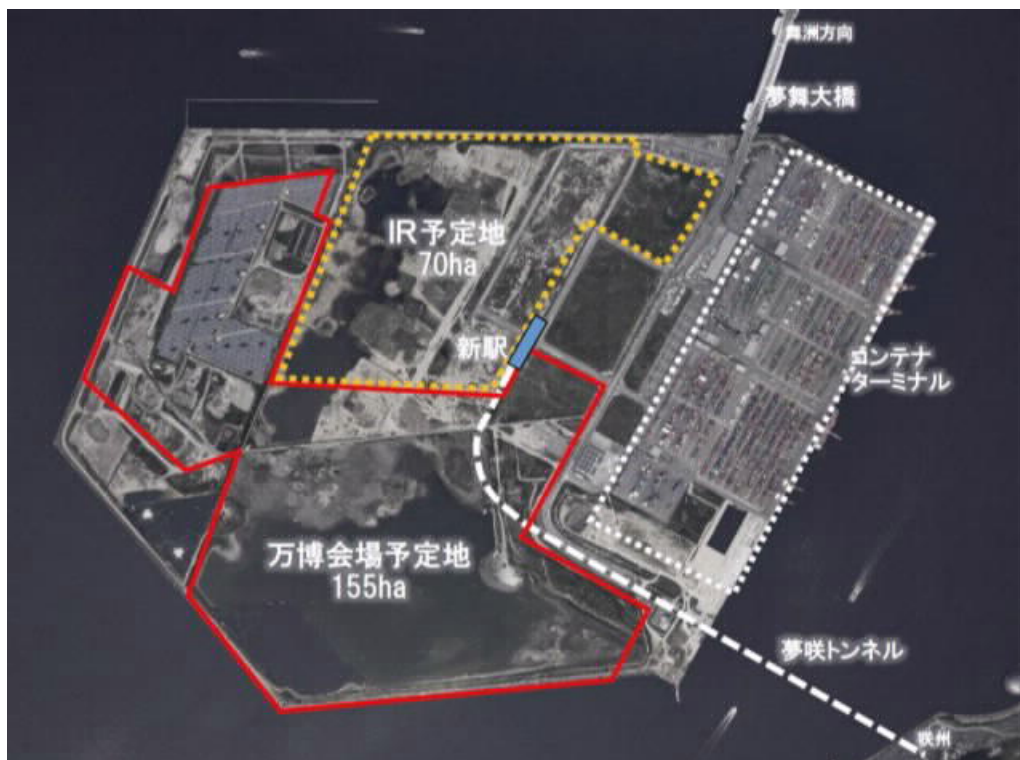
- 目標入場者数：約2,800万人

- 開催場所 : 夢洲 (大阪市此花区) 約155haを想定

- アクセス : 地下鉄中央線の延伸計画、主要駅からのシャトルバスの運行 等



夢洲:IR・万博予定地



大阪市 インフラ整備概略工程（案）

項目		事業費 [億円]	2018 H30	2019 H31	2020 H32	2021 H33	2022 H34	2023 H35	2024 H36	2025 H37	2026 H38	2027 H39	2028 H40	～
万博														
IR														
①	埋立・盛土(万博)	136												
②	埋立・盛土(IR)	30												
③	観光外周道路	34												
④	高架道路(道路部) 高架道路(橋梁部)	43												
⑤	下水道(排水管等)	106												
⑥	上水道(ポンプ等)	26												
⑦	鉄道(南ルート)[事前調査]	1.4												
	鉄道(南ルート)[インフラ部]	250												
	鉄道(南ルート)[インフラ外部]	290												
⑧	夢洲幹線道路	10												
⑨	舞洲幹線道路	0.2												
⑩	此花大橋(6車線化等)	26												
⑪	夢舞大橋(6車線化)	1												
合計		954												

※ 事業費、スケジュールは精査中

- 東京2020大会の競技会場の多くは、コンテナターミナルが集積し、物流等にかかる交通需要が集中している地域に立地。
- 臨海部周辺地域における交通混雑が港湾物流に与える影響は大きく、東京2020大会に向けて、東京港における円滑な港湾物流の確保のための対応方策を検討する必要がある。
- このため、国土交通省港湾局と東京都港湾局において、関係部署を交えた「東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた円滑な港湾物流の確保のための連絡協議会」を本年6月3日に設置したところ。引き続き同協議会を活用して具体的な対応方策の検討を実施。

【構成員】		【経緯】	
＜国土交通省＞		令和元年 6 月 3 日	協議会の設置、第 1 回協議会の開催
高田 昌行	港湾局長	8 月 8 日	第 2 回協議会の開催
谷口 礼史	港湾局港湾経済課長		・ 大会に向けた円滑な港湾物流の確保のための取組状況
中村 晃之	港湾局計画課長		・ 大会に向けた円滑な港湾物流の確保のための更なる対応方策
飯塚 秋成	総合政策局物流政策課長		・ 今後の進め方について
中井 智洋	総合政策局参事官（物流産業）		
伊地知英己	自動車局貨物課長		
長井 総和	海事局外航課長		
秋田 未樹	海事局内航課長		
吉田 晶子	関東運輸局長		
加藤 雅啓	関東地方整備局副局長		
＜東京都＞			
古谷ひろみ	港湾局長		
相田 佳子	港湾局港湾経営部長		
山岡 達也	港湾局港湾整備部長		
戸谷 泰之	港湾局港湾振興担当部長		

東京港は以下の取組を進めます

- | | | |
|---|-----------------------------------|---------------------------|
| 1 | 新たなコンテナミナルの使用開始(2019年度予定)、幹線道路の整備 | 東京港の機能が抜本的に強化 |
| 2 | コンテナターミナルの早朝ゲートオープン | タ方の混雑を緩和
※関係者との協議により実施 |
| 3 | 24時間利用可能な一時保管場所の増設 | さらに多くのコンテナ貨物を早朝・夜間に搬出入可能 |
| 4 | 臨海部道路のWebカメラ増設 | 臨海部の交通状況のリアルタイム配信を充実 |
| 5 | 臨海部混雑マップの提供 | 日別・時間別の混雑予測により車両を分散化 |
| 6 | 船舶利用促進（フィーダー・はしけ補助） | 船舶へのシフトにより東京港でのトラック利用減 |
| 7 | 特設ホームページの開設 | 上記取組等について最新情報を提供 |

※上記以外にも対応策を検討中

大会1年前にはトライアルを実施、その際に皆様から意見募集・相談受付